



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場会社名 多木化学株式会社  
 コード番号 4025 URL <http://www.takichem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 多木 隆元  
 (氏名) 正木 貴久

TEL 079-437-6002

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	16,494	△4.3	895	△35.4	983	△35.8	634	△36.1
27年12月期第2四半期	17,239	△0.4	1,384	21.3	1,532	24.0	992	26.6

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △627百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 1,999百万円 (297.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	29.38	—
27年12月期第2四半期	45.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	38,706	21,229	53.9
27年12月期	38,558	22,160	56.5

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 20,857百万円 27年12月期 21,801百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	14.00	14.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△0.3	1,800	△3.2	1,950	△5.5	1,200	△9.2	55.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期2Q	23,646,924 株	27年12月期	23,646,924 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期2Q	2,047,484 株	27年12月期	2,047,366 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	21,599,519 株	27年12月期2Q	21,601,129 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」もご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高や世界経済の減速などにより、輸出を中心に総じて厳しい状況となり、金融資本市場の変動がわが国の景気を下押しするリスクとなるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは平成27年1月から推進している「第11次中期3カ年経営計画」(P130R)に基づいて、基盤事業の収益力強化に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は164億94百万円(前年同期比4.3%減)となり、原料市況や為替の変動によるたな卸資産の期末評価の影響で、売上原価が大幅に増加したことなどにより、営業利益は8億95百万円(前年同期比35.4%減)、経常利益は9億83百万円(前年同期比35.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億34百万円(前年同期比36.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (アグリ)

肥料の販売数量は、海外原料市況の低迷などによる値下がりを見越した買い控えにより減少し、売上高は50億61百万円と前年同期に比べ1.4%の減少となりました。

#### (化学品)

水処理薬剤は、販売価格の下落により、売上高は32億17百万円と前年同期に比べ0.2%の減少となりました。機能性材料は、スマートフォンなどに使用される高純度金属酸化物やセラミック繊維向け高純度塩基性アルミ塩の販売数量が増加したことなどにより、売上高は26億1百万円と前年同期に比べ8.3%の増加となりました。その他化学品の売上高は7億7百万円と前年同期に比べ1.5%の減少となりました。それらの結果、売上高は65億25百万円と前年同期に比べ2.9%の増加となりました。

#### (建材)

石こうボードの販売数量は堅調に推移したものの、販売価格の下落により、売上高は16億13百万円と前年同期に比べ0.7%の減少となりました。

#### (石油)

燃料油の販売価格が原油価格の下落に伴い値下がりしたことに加え、販売数量が減少したことにより、売上高は10億99百万円と前年同期に比べ34.5%の大幅な減少となりました。

#### (不動産)

ショッピングセンターの賃料収入は前年同期並みに推移し、売上高は8億31百万円と前年同期に比べ1.1%の増加となりました。

#### (運輸)

荷動きが低調に推移したことにより、売上高は13億62百万円と前年同期に比べ16.9%の大幅な減少となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、387億6百万円(前連結会計年度末比1億47百万円増)となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が10億27百万円、原材料及び貯蔵品が2億44百万円それぞれ増加したことなどにより、197億33百万円(前連結会計年度末比18億1百万円増)となりました。固定資産は、投資有価証券が19億51百万円減少したことなどにより、189億73百万円(前連結会計年度末比16億54百万円減)となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が6億34百万円、繰延税金負債が5億8百万円それぞれ減少しましたが、長短借入金が増加したことなどにより、174億77百万円(前連結会計年度末比10億78百万円増)となりました。

純資産の部は、利益剰余金が3億32百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が13億6百万円減少したことなどにより、212億29百万円(前連結会計年度末比9億31百万円減)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成28年2月8日に公表いたしました平成28年12月期の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,885	2,079
受取手形及び売掛金	9,950	10,978
商品及び製品	2,476	2,586
仕掛品	304	386
原材料及び貯蔵品	2,970	3,214
繰延税金資産	70	163
その他	290	347
貸倒引当金	△17	△22
流動資産合計	17,931	19,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,769	18,892
減価償却累計額	△13,702	△13,867
建物及び構築物(純額)	5,067	5,024
機械装置及び運搬具	14,523	14,631
減価償却累計額	△13,030	△13,178
機械装置及び運搬具(純額)	1,493	1,453
工具、器具及び備品	1,415	1,419
減価償却累計額	△1,300	△1,295
工具、器具及び備品(純額)	115	123
土地	6,059	6,072
リース資産	29	29
減価償却累計額	△10	△12
リース資産(純額)	19	17
建設仮勘定	34	327
有形固定資産合計	12,789	13,018
無形固定資産		
のれん	142	116
ソフトウェア	13	14
その他	15	18
無形固定資産合計	170	149
投資その他の資産		
投資有価証券	7,404	5,453
繰延税金資産	74	177
その他	231	214
貸倒引当金	△44	△41
投資その他の資産合計	7,666	5,804
固定資産合計	20,627	18,973
資産合計	38,558	38,706

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,878	4,244
短期借入金	300	2,000
1年内返済予定の長期借入金	108	125
リース債務	4	3
未払金	1,279	1,477
未払法人税等	399	410
未払消費税等	62	75
繰延税金負債	1	-
賞与引当金	37	35
役員賞与引当金	18	-
その他	656	717
流動負債合計	7,746	9,089
固定負債		
長期借入金	660	963
リース債務	11	10
繰延税金負債	916	409
退職給付に係る負債	3,749	3,699
預り保証金	3,123	3,119
その他	189	185
固定負債合計	8,651	8,387
負債合計	16,398	17,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	16,812	17,145
自己株式	△748	△748
株主資本合計	19,433	19,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,632	1,326
退職給付に係る調整累計額	△264	△234
その他の包括利益累計額合計	2,368	1,091
非支配株主持分	359	372
純資産合計	22,160	21,229
負債純資産合計	38,558	38,706

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	17,239	16,494
売上原価	13,020	12,749
売上総利益	4,219	3,744
販売費及び一般管理費	2,834	2,849
営業利益	1,384	895
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	146	107
その他	31	33
営業外収益合計	180	143
営業外費用		
支払利息	12	11
固定資産除却損	15	23
為替差損	-	14
その他	5	5
営業外費用合計	33	54
経常利益	1,532	983
税金等調整前四半期純利益	1,532	983
法人税、住民税及び事業税	551	414
法人税等調整額	△23	△82
法人税等合計	528	331
四半期純利益	1,003	652
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	992	634



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	1,003	652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	975	△1,309
退職給付に係る調整額	19	30
その他の包括利益合計	995	△1,279
四半期包括利益	1,999	△627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,986	△641
非支配株主に係る四半期包括利益	12	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。